

## 学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	「生徒の学力の充実」
評価指標	①「全国高等学校ビブリオバトル」等の大会連続代表出場と大会成績の向上、校内大会の定例化 ② 読書実態調査における「一カ月の読書冊数」の増加 ③ 教育産業の学力生活実態調査「平日の自宅学習時間（ラーニング・コモンズでの学習を含む）」の増加
計画名	主体的な学びの広場 「学習支援型図書室ラーニング・コモンズ」創設プロジェクト

## 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	1. 【授業革命】で「ジェネリック・スキル（汎用的能力）」を育成！〈基礎学力の定着と向上〉〈進路実現〉 (1) 生徒の主体的・能動的な学ぶ姿勢を引き出すことで「ジェネリック・スキル（汎用的能力）」を育成し、「自己肯定感」を高め、「進路実現」を強力サポートする。 (2) 【骨太の日本語力養成プロジェクト】～生きる力の源泉「言葉のチカラ（言語技術）」を徹底マスター (3) 語彙力増強を意図し、図書室を学習支援型のラーニング・コモンズとして、各種の情報や仕掛けを間断なく提供していく。		
事業目標	【第3次大阪府子ども読書活動推進計画の一環として】利用者が少ない本校図書室を、図書室コーディネーターなど専門家の協力のもと、生徒の主体的な学びのスペース「学習支援型図書室ラーニングコモンズ」として蘇らせる。可動式のテーブルや椅子を組み合わせて、自由な発想で生徒各自のニーズに合わせた自主的な学習活動を可能にするスペースを創出する。Teaching（教員が教えること）からLearning（生徒が主体的に学ぶこと）へ。グループでのディスカッションや仲間との教えあい・学びあいなど、会話をしながらの学習が可能なスペースとする。学ぶことの本来の楽しさを取り戻し、自ら積極的に学ぶ姿勢を身につけ、授業以外での勉強時間ゼロからの脱却をめざし、自学自習の習慣を身につけるサポートとしたい。また正規授業でも、アクティブ・ラーニングの実践チャレンジ道場として利用することができるスペースとする。紙媒体に限らず、無線LANを通じてタブレット端末で電子資料にも気軽にアクセス可能にする。		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品等	学習支援型図書室「ラーニング・コモンズ」創設 ・可動式ワークテーブル&チェア×42人分、タブレット端末×42台、無線画像転送装置×3台、 プロジェクター 一体型ホワイトボード1台、教卓1台、無線LANアクセスポイント ・講師（図書館コーディネーター、作家など）の招聘	
	取組内容	前年度	・「学校図書館を使った調べる学習」の指導者育成にあたっては専門家との連携構築や先進事例の視察 ・ビブリオバトル各種大会への代表参加や学校独自大会の開催、「国語科」授業にビブリオバトルの導入等 ・大阪府教育庁（市町村教育室地域教育振興課）主催「ビブリオバトル研修」 （文科学委託事業「H27大阪子ども読書活動推進ネットフォーラム事業」）にて、先進校として事例発表
		初年度	学習支援型図書室「ラーニング・コモンズ」施設および運営システムの設計（～8月） 図書室改装（8～9月）、ラーニング・コモンズ開設・運営スタート（10月）、 授業アンケート・学校教育自己診断の実施と分析（特に自学自習時間の増減と学力）（7月、1月） 初年度の評価と総括、次年度に向けた目標の設定（3月）
		2年目	全教科で授業での活用（4月～）、授業互見（随時）、クラブ活動でも作戦会議などで活用（4月～） 各地のラーニング・コモンズの先進事例視察や研究（随時）、授業アンケート 学校教育自己診断の実施と分析と情報共有（7月、1月）、2年目の評価と総括 次年度に向けた目標の設定（3月）
	3年目	全教科で授業での活用（4月～）、授業互見（随時）、クラブ活動でも作戦会議などで活用（4月～） 各地のラーニング・コモンズの先進事例視察や研究（随時）、授業アンケート 学校教育自己診断の実施と分析と情報共有（7月、1月）、3年間の評価と総括 次年度に向けた目標の設定（3月）	
取組みの 主担・実施者	取組みの主担：教科横断的なラーニング・コモンズ運営プロジェクトチーム 取組みの実施者：100%全教員予定		
成果の検証 指標方法	初年度	①全国高等学校ビブリオバトル（3年連続）、中高生ビブリオバトル大阪大会（2年連続）出場と校内大会の学期間2回開催。 ②学校独自に読書実態調査を実施して生徒の実態を把握し、「一カ月の読書冊数」全国平均（1.7冊）と比較して目標設定。 ③教育産業の学力生活実態調査「平日の授業以外の学習時間」平均30分未満の学習者48.4%→30%、「ほぼ毎日、自宅学習する」18.6%→40%	
	2年目	①全国高等学校ビブリオバトル（4年連続）、中高生ビブリオバトル大阪大会（3年連続）出場と校内大会の隔月開催。 ②読書実態調査における「一カ月の読書冊数」前年比50%増加 教育産業の学力生活実態調査「平日の授業以外の学習時間」平均30分未満の学習者30%→20%、「ほぼ毎日、自宅学習する」18.6%→60%	
	3年目	①全国高等学校ビブリオバトル（5年連続）、中高生ビブリオバトル大阪大会（4年連続）出場と校内大会の月例化実現。 ②読書実態調査における「一カ月の読書冊数」前年比50%増加 ③教育産業の学力生活実態調査「平日の授業以外の学習時間」平均30分未満の学習者20%→10%、「ほぼ毎日、自宅学習する」18.6%→80%	

学校番号

404

3. 事業費

事業費総額	5,565,774	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	(平成28年度) 外部講師謝金	○			¥20,000	4	¥80,000
	2							
	3							
								小計
2 旅費	1	(平成28年度) 外部講師旅費、視察旅費	○					¥50,000
	2							
	3							
								小計
3 消耗需用費	1	タブレット、タブレット用ケース(消費税含む)					42	¥2,209,200
	2	プロジェクター表示装置(消費税含む)					2	¥17,700
	3	ワークテーブル及びチェア(消費税含む)					42	¥2,080,890
	4	タブレット保管庫(消費税含む)					2	¥190,000
	5	教卓					1	¥33,000
								小計
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
								小計
5 役務費	1							
	2							
	3							
								小計
6 委託料	1							
	2							
	3							
								小計
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
	3							
								小計
8 備品購入費	1	プロジェクター一体型ホワイトボード					1	¥498,000
	2	管理用パソコン					1	¥121,824
	3	無線画像転送機器(消費税含む)					2	¥285,160
								小計
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
								小計
10 負担金・補助及び交付金	1							
	2							
	3							
								小計
							合計	¥5,565,774